

## 神の言葉への飢え渴き

マルコによる福音書八章一〜10節

群衆がかわいそうだ。もう三日も私と一緒にいるのに、何も食べる物がない。(2)

主イエスの話を聞くために来ていた人々は、食べる物がありません、それでも帰ることなくイエスのもとに留まっていました。お腹が空いていることさえ忘れてイエスの教えに真剣に聞き入っていたのでしよう。主イエスがなされたパンの奇蹟に驚く前に、三日間も寝食を忘れて神の言葉にひたすら聞こうとしていた彼らの真剣さに私たちは驚かなければなりません。人々は肉体の飢え渴き以上に、その魂が飢え渴き、霊の糧を求めて神の言葉を聞くことに専心していたのです。主イエスの言葉を今ここで聞かなくては生きて行けないことを知っていたのです。どんな言葉をも聞き逃すまいという人々の姿勢を、主イエスはどれほど喜んでおられたことでしょう。霊の糧をひたすら求める者たちに、主は肉体の糧をも備えてくださいました。私たちも飢え渴くように神の言葉を求めたいと願います。